



市ホームページ「市長の部屋」へどうぞ。http://www.city.shimonoseki.lg.jp/

子どもたちの笑顔あふれるまちづくり 子ども未来部・ふくふく子ども館

一 んにちは。市長の中尾友昭です。4月から子どもたちが健やかで元気に育ち、安心して子育てができる下関市を目指して、二つの取り組みがスタートしました。

一つ目は、子どもの育成と子育て支援を行うために子ども未来部を創設し、福祉部(児童の福祉に関すること)、教育部(幼稚園に関すること)の窓口を新しい部に一本化しました。妊娠、出産から子育てまで、切れ目なく総合的に対応できるようにしました。

子ども未来部は三つの課で構成されています。「子ども育成課は、保育園、幼稚園、障害児、子ども・子育て支援新制度に関することなどを行います。」

「子ども家庭課は、児童館や児童クラブ、ふくふく子ども館の運営、児童手当・児童扶養手当の支給や乳幼児医療費の助成、ひとり親家庭の自立支援事業などを行います。」

二 つ目は、『ふくふく子ども館』のオープンです。JR下関駅ビル3階に、「次代を担う子どもたちを多世代で育む」をコンセプトに開設しました。若い世代の親子連れ、おじいちゃんやおばあちゃん、子育て関係者や地域の方々など、幅広い世代の方が集まる拠点となることを目指しています。

海の中をイメージした楽しい遊具のあるプレイランド、一時預かり室、いろいろな催しに使える多目的室などもあります。毎日のように、さまざまな子育て支援のプログラムや子育てに関する相談も行っていきます。多くの方が来館されるのをお待ちしております。

この他にも、子ども未来部で行うさまざまな子育て支援の取り組みを通じて、子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを目指してまいりますので、ご期待ください。

- 子ども未来部について
- 子ども育成課(☎231-1722)、子ども家庭課(☎231-1353)、子ども保健課(☎231-1447)
- ふくふく子ども館

- ふくふく子ども館
- ふくふく子ども館

中尾市長の似顔絵を募集しています。作品と、住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を、広報広聴課(〒750-8521市内南部町1番1号)へお寄せください。

しものせきナビ vol.44

下関の登録有形文化財

蜂谷ビル

(旧東洋捕鯨株式会社 下関支店)
下関市岬之町 13-7

大正末年に東洋捕鯨株式会社下関支店として建てられた蜂谷ビルは、関門海峡近くの小高い丘の上に建つ、すっきりとした印象の建物です。

外観は、縦長の窓と柱形(壁の一部が柱状に突出した部分)で垂直線が強調され、現代建築に近い印象ですが、軒には帯状の装飾(コーニス)が簡略化された形でまわるなど、古典建築に由来する装飾が散りばめられています。れんがのように見える窓の間の方立はタイル貼で、白い壁面にバランスよく配色されて



います。

後に日本捕鯨株式会社となった東洋捕鯨株式会社は、昭和9(1934)年にわが国で初めて母船式による捕鯨船団を南水洋へ送り出した会社です。柱形の頂部にある飾りが捕鯨の頭文字「H」に見え、コーニスの水平線が白い波に思えてきませんか。鑑賞の際に、建物にまつわる歴史から想像力を働かせてみると、思わぬ発見に出くわすことがあるかも知れません。

※母船式：鯨の解体作業や鯨油の生産、船団の各船への燃料などの補給を行う役割を持つ捕鯨母船と、捕鯨船などからなる船団で、南水洋に赴く捕鯨法